



KAKEHASHI Project (招へいプログラム) 米国 (トモダチノウエスカラズ) 第2陣の記録

1. プログラム概要

「対日理解促進交流プログラム」の一環として、米国より大学生・大学院生 23 名が来日し、日本の政治、社会、歴史及び外交政策に関する理解促進や、日本の魅力等の積極的な発信を目指し、平成 28 年 3 月 20 日から 3 月 27 日までの 7 泊 8 日の日程でプログラムを実施しました。

2. 参加国・人数

米国 23 名

3. 訪問地

東京都、北海道

4. 日程

- 3 月 20 日 (日) 中部国際空港セントレア、成田国際空港より入国
- 3 月 21 日 (月) 来日時オリエンテーション
【都内視察】江戸東京博物館、皇居、銀座、東京都庁展望台
- 3 月 22 日 (火) 【日本の外交政策に関する講義】外務省北米局
【最先端技術】千葉工業大学スカイツリーキャンパス
【歴史的建造物視察】浅草
- 3 月 23 日 (水) 北海道へ移動
【地域概要説明】札幌市
- 3 月 24 日 (木) 【文化体験】北海道大学アイヌ・先住民研究センター
【学校交流】東海大学札幌キャンパス
- 3 月 25 日 (金) 【文化体験】アイヌ民族博物館
【ワークショップ】
- 3 月 26 日 (土) 東京へ移動
【成果報告会】
- 3 月 27 日 (日) 【歴史的建造物視察】明治神宮・原宿、国立博物館
成田国際空港より出国

5. KAKEHASHI Project プログラム記録写真
米国（トモダチノウェスカラズ）訪日団の記録



3/22 【外交政策講義】外務省（東京）



3/22 【最先端技術】千葉工業大学スカイツリーキャンパス（東京都）



3/23 【地域概要説明】札幌市概要講義（札幌市）



3/24 【学校訪問】北海道大学キャンパスツアー（札幌市）



3/24 【文化体験】北海道大学アイヌ先住民研究センター訪問（札幌市）



3/24 【学校交流】東海大学よさこい体験（札幌市）



3/25 【文化体験】アイヌ民族博物館



3/26 【成果報告会】（東京都）

6. 参加者の感想

◆ アメリカ 大学生

東京と北海道に滞在中に日本の習慣に触れ、印象に残りました。日本人は、非常に礼儀正しく、可能な限り、支援の手を常に差し伸べてくれます。そうした心構え・姿勢を日本人は時には大々的に、控えめに表してくれます。東海大学に訪問した時は、学生が素晴らしい伝統舞踊を披露してくれました。彼らはずっと笑顔で、惜しまずに踊りの文化を共有くれました。またアイヌ文化とアイヌ語に関しての知識を深める機会を持つことができ嬉しかったです。アイヌ文化に関して事前知識はなかったですが、帰国したら家族や友人等に学んだ事・経験した事を共有していきます。ハワイ語やアイヌ語を話す原住民を含めハワイ語とアイヌ語を話す人が良い関係を築くことができれば、お互いからたくさん学ぶことができると思います。

◆ アメリカ 大学生

来日する前は日本人、日本人の考え方、そして日本の技術に関しての私の知識は限られていましたが、日本食を食べ、訪問先の方々と交流し（その訪問先は、地元の方々が強い愛着や誇りを持っている場所でした。）一週間過ごし、日本の大ファンになりました。この場所は本当の幸福と思いやりの精神を具現化しています。誰であろうと日本人は、受け入れてくれます。それは何物にも代え難いです。私にとって貴重な経験となりました。というのは、各訪問先で何らかの教訓を得て、自己を向上させる自己啓発になりました。日本は、安全な国で笑顔が至る所にあふれています。米国ではそこまで及びません。世界中の人々にも素晴らしい国、日本で見て聞いたことを共有しながら、日本との良好な関係を続けていきたいです。マハロ（ありがとうございます。）

◆ アメリカ 大学生

特に北海道への訪問は、忘れられない経験となりました。アイヌ文化を学び、博物館を訪れ、深い感動を覚えました。人類学の教授による講義はすばらしかったです。アイヌ語、純粋なアイヌ人の数、生活様式、規則、古式舞踊等に関して学びました。アイヌの子供たちは、両親から独自の文化・言葉を直接学ぶことができず、祖父母、先生、研究者達から学ばなくてはならないことを知り、非常に驚きました。自分たちの文化を家族ではなく他人から学ぶのは非常に難しいと思います。そのことを思うと、私は直接母親からハワイ語、文化、そして祖先のことを学び、絆を強めることができることに感謝の気持ちでいっぱいになりました。東海大学の学生と交流して一緒にダンスをお

どったことは良き思い出となりました。今後も連絡を取り合って、ハワイと日本の生涯にわたる友情を築いていきます。

7. 参加者の報告会での報告内容(帰国後の発信計画) / プログラム中の発信内容

Project Nāwahī • Why: Support all indigenous people • When: During May • Who: Entire Group • Audience: Students of the Japanese language class at Nāwahī • How: In school presentation using Powerpoint and other visual media.	What We Learned • Ainu people and their current status • Japanese culture • Mannerisms • Language • Article 9 • Technological advances • Sumo lifestyles • Samurai • Sakura 
日本での気づき	アクションプラン
Knowledge Gained During Our Visit • Indigenous People of Japan, The Ainu <i>E ola mau ka 'ōlelo a me ka mo'omeheu Ainu!</i> • Technological Advances and Economic Growth and Peacemaking Efforts after WWII • Primary religions of Japan: Shinto and Buddhism  	Action Plan What? And how? • Compile information we found and photos we took to present to schools • Write a newspaper article http://Nāwahī.com • Daily update of blog during trip: http://Nāwahī.com   Who? • TOMODACHI Scholars • Individual presentations To whom? • Nāwahī - 5th grade Japanese Language class • UH Hilo student body • Waimānalo community • Public
日本での気づき	アクションプラン
	
滞在中の発信（ブログ）	滞在中の発信（YouTube）